

タイトル「2019年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2019年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	情報マネジメント																																		
担当教員	岩田 英朗																																		
対象学年		クラス	E1																																
講義室		開講学期	後期																																
曜日・時限	火4	単位区分																																	
授業形態	講義・演習	単位数	2																																
準備事項																																			
備考	標準履修年次 3・4年次																																		
科目名（英語表記）	Information management																																		
授業の概要・ねらい	<p>経済のグローバル化・情報通信技術の急速な発展・人工知能を活用したデータ処理技術の開発等によって、現代社会は変革期にあると言われています。このような状況下では論理的思考能力が特に重視されますが、同能力を適切に発揮するためには、科学的視点に基づく合理的調査および理解が不可欠です。この授業ではIoT（Internet of Things）をキーワードに現代社会への理解を深め、科学的考察と論理的思考能力を磨くことを目的としています。同時に、情報化社会の進展に伴って特にクローズアップされている情報の収集や分析・管理における倫理的側面（情報倫理）についても学びます。</p> <p>教科書となる文献をただ読み解くのではなく、「自分の力で関連情報を集め考察し、グループでのディスカッションを通して思考する能力を高める」を目標としています。従って、授業の前には適切な調査（予習）を求めます。またグループディスカッションに参加し、その結果をレポートしてもらいます。</p> <p>事前に提示された課題（予習）を行っていない場合、授業に参加し能力を高めることができません。結果、単位修得が困難になることを理解願います。</p>																																		
授業計画	<p>グループディスカッションやグループワークを活用して授業を進めるため、授業前自習（予習）が必須です。具体的には、 「教科書の該当部分を授業前に読書し、内容を理解し、レポートに纏める」 や 「グループディスカッションやワークを実施するために必要な情報を事前収集し、レポートに纏める」 等の内容です。これら予習の成果物を授業終了後に提出するよう求めることがあります。</p> <p>また、授業の中で2回程度、調査・研究・ディスカッション・ワーク等の成果を反映したレポートを提出してもらいます。これは事後学習（復習）に当たります。 くれぐれも予習・復習を怠らないようにしてください。</p> <p>以下はあくまでも目安であり、状況に応じて変更することがあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション：本授業の目的・本授業の進め方についての説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高度情報化社会を理解するために必要な技術に関する基礎的知識の調査・研究</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における製造業</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における流通業</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その2</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>情報は誰のものか？ データ収集と倫理</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その1 情報の価値と情報セキュリティ</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その2 情報倫理と、情報活用による新たな社会価値の創造</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>技術発展が進む近未来社会に対応した情報マネジメント</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>復習とまとめ・情報化の進展によるの情報マネジメントの必要性・重要性</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション：本授業の目的・本授業の進め方についての説明	2	高度情報化社会を理解するために必要な技術に関する基礎的知識の調査・研究	3	高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その1	4	高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その2	5	情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その1	6	情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その2	7	ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における製造業	8	ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における流通業	9	ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その1	10	ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その2	11	情報は誰のものか？ データ収集と倫理	12	現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その1 情報の価値と情報セキュリティ	13	現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その2 情報倫理と、情報活用による新たな社会価値の創造	14	技術発展が進む近未来社会に対応した情報マネジメント	15	復習とまとめ・情報化の進展によるの情報マネジメントの必要性・重要性
回	内容																																		
1	オリエンテーション：本授業の目的・本授業の進め方についての説明																																		
2	高度情報化社会を理解するために必要な技術に関する基礎的知識の調査・研究																																		
3	高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その1																																		
4	高度情報化社会の未来を占う技術に関する調査・研究 その2																																		
5	情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その1																																		
6	情報マネジメントの基本・IoT時代の競争戦略に関する調査・研究 その2																																		
7	ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における製造業																																		
8	ビジネスモデルと情報マネジメント・IoT時代における流通業																																		
9	ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その1																																		
10	ビジネスモデルと情報マネジメント・情報（データ）を武器とした経営戦略 その2																																		
11	情報は誰のものか？ データ収集と倫理																																		
12	現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その1 情報の価値と情報セキュリティ																																		
13	現代社会における情報マネジメントの価値に関する考察 その2 情報倫理と、情報活用による新たな社会価値の創造																																		
14	技術発展が進む近未来社会に対応した情報マネジメント																																		
15	復習とまとめ・情報化の進展によるの情報マネジメントの必要性・重要性																																		
到達目標	<p>以下に示す3項目全てを習得するのが本授業の到達目標です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 現代における情報の価値について適切に認識できる 適切な知識に基づき、事業経営における合理的・科学的な情報マネジメント手法に関する知識を有している 																																		

	3. 情報化社会の将来について、科学的・合理的なディスカッションに参加できる
成績評価の方法	<p>前述の通り、授業期間中は随時、事前学習の課題（指定した文献の事前読書や事前調査）を提示します。同時に、調査・研究の成果をまとめたレポート（事後学習の成果物）を2回程度、提出してもらいます。</p> <p>以上に加え、学期の最後に最終レポートを提出してもらいます。</p> <p>成績は、以下の三点を中心に評価します。ただし、割合はおおよそその値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前に提示する課題への対応（20%） ・ グループディスカッションやグループワークへの参加姿勢（20%） ・ 調査・研究の成果を記した複数のレポート（ディスカッションやワークの成果物および最終レポート）（60%） <p>これらの結果をもって本授業の到達目標への到達度を判断し、成績評価とします。</p>
教科書	<p>本授業を受講する上で基本となる文献です。各自必ず用意願います。</p> <p>『IoTの衝撃－競合が変わる、ビジネスモデルが変わる』, DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー編集部, ISBN-13: 978-4478100882, 1728円</p>
参考書・参考文献	『成功するIoT』, 日経コミュニケーション, ISBN-13: 978-4822215989, 1944円
履修上の注意・メッセージ	<p>本授業では自主的・能動的に資料を集め、研究し、考察することが求められます。</p> <p>授業では教員から受講生に対する情報提供とは別に、ディスカッションやグループでのワークを積極的に実施します。従って既に何度も示している通り、事前に提示された課題を行っていない場合は授業に参加できません。ご注意願います。</p>
履修する上で必要な事項	<p>事前に提示された課題（予習）を行っていない場合、グループディスカッションやグループワークを含む授業に参加し、能力を高めることができません。</p> <p>結果、単位修得が困難になる現実を理解願います。</p> <p>また、授業内ワークを実施する際は個人所有の情報端末（PCやスマホ等）を活用が必須です。それら機器の持参をお願いします。</p>
受講を推奨する関連科目	ビジネスモデルデザイン, 情報技術, データベース
授業時間外学修についての指示	<p>大学設置基準では大学（教員）に対し、学生の単位修得に際しては十分な自主的学修時間を提供するように求めています。</p> <p>従って本授業においても、「授業計画」や「成績評価の方法」で示した予習やレポート作成等の授業時間外学修を求めます。これら自主的学修を怠った場合は、単位修得が不可能になることを十分に認識してください。</p>
その他連絡事項	特にありません。
科目ナンバリング	E210001BJ,E210002SJ